

# 令和5年度東温市地域自立支援協議会 特別専門部会説明資料

## 地域生活支援拠点等特別専門部会

「地域生活支援拠点等の整備」について、実際に運用を行うには様々な課題があるため、専門部会に所属する関係事業所等が集まり協議を行う部会（令和5年1月26日全体会で承認）

地域生活支援拠点等特別専門部会長 伊藤 剛志（成人部会長）  
副会長 吉良 美奈子（相談支援部会長）

### ○開催（予定）日

- 第1回 令和5年 6月20日（火） 15:00～16:00
- 第2回 令和5年 9月 1日（金） 13:30～15:00
- 第3回 令和5年12月 開催予定

### <協議内容>

#### 第1回

- ① 地域生活支援拠点等とは ～今後の運用について～  
拠点の5つの機能（①相談、②緊急時の受け入れ・対応、③体験の機会・場の提供、④専門的人材の確保・育成、⑤地域の体制づくり）について、担う機関や役割等を確認した。
- ② 運用する上での課題・問題点や事業所としての意見等を出し合い、次回の協議事項とした。

#### 第2回

- ① 具体的な事例検討を通して、必要だと考えられる支援内容や仕組みについて協議した。  
【事例】知的障がい（療育A）、自閉症で強度行動障害のある20歳代の方。受け入れ先が少なく、家族の負担が大きい。介護者が付き添わないといなくなったり、他所で迷惑をかけてしまうため、休職し面倒をみる。生活は困窮。生活介護と重度訪問介護を利用しながら、希望する施設への入所を目指している。

○事例検討を通して出された課題は、大きく下記の4つに分類された。  
（今後さらに協議予定）

#### (1) 緊急受入れの基準

どの現状を緊急として取り扱うのか、緊急性の判断はどこがするのか、相談の24時間体制の窓口等。  
専門性の面から受け入れる施設数が少ない。

(2) 外出先の確保

保護者会など保護者への支援体制と相談できる場が必要、地域社会での孤立を防ぐ支援体制等

(3) 人材育成

強度行動障がいの専門的知識を持った人材の育成、専門分野の研修の機会の確保、知識の活かし方等

人材育成以前に、人手不足となっている問題をどう解決していくかは、福祉業界全体の大きな課題である。

(4) 受け入れに必要な情報

サービスを利用している方と初対面の方の情報収集の仕方、フォーマット、どんな情報があればよいか（最新の生活状況・特性・病歴等）。支援方法、医療、支給決定の期間等。

② 地域生活支援拠点等整備に関する課題について

上記、事例検討で出された課題・問題点について、施設・事業所としての考え方や、対応するとすれば必要な情報、仕組みについて協議した。（時間の都合により、一部の課題については次回の協議事項とした。）

**第3回（予定）**

- ・ 前回協議できなかった課題等について協議する。
- ・ 情報共有のための書式について検討をする。
- ・ 来年度から地域生活支援拠点として事業所登録をすすめるため、要綱制定に向けて内容を協議する。

**<部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等>**

- ・ 障害福祉サービス事業所の代表者、各種団体の代表者等それぞれの立場から、課題・問題点等について、対策案などご意見、また見落としている課題などがあればアドバイスをいただきたい。